

□□ イキイキなかがわっ子市民ワークショップの結果 **概要版**

①子どもワークショップ ※子どもの権利条約の説明

第1回 日時：令和元年12月15日（日）13：30～15：00 参加者：41人
ねらい：子どもが幸せに生きていくために、お父さんやお母さん、友だち、学校などに対して、どのようなことを望んでいるのか、また、子どもが置かれている現状を把握する
手法：7班に分け、大きく6つのテーマから「こんな〇〇だったらいいな」について話し合い、発表する。

第2回

日時：令和元年12月26日（木）13：30～15：00 参加者：44人
（女子商） " 9：00～10：30 参加者：28人
ねらい：子どもが幸せに生きていくために、第1回で話し合った「こんな〇〇だったらいい」を実現するために、何をしたらよいかを把握する
手法：7班に分け、第1回で話し合った6つのテーマ別に「他者をお願いすること」「自分でできること」について話し合い、発表する。

テーマ	第1回	第2回	
	主な意見	他者をお願いすること	自分でできること
家族	・優しい家族だったらいい ・家族で過ごせる時間が多くあればいい ・家族間での暴力（理不尽な扱い）がなくなるといい	・怒鳴らないでほしい ・もっと話を聞いてほしい ・優しく伝えてほしい	・怒られないようにする ・自分から話しかける ・自分が大人になる
友だち	・悪口や陰口（いじめ）が無くなるとうい ・何でも相談できる友達がいたらいい	・優しくしてほしい ・相手のいいところを知る	・注意、相談する ・自分が相談に乗る
近所の人	・何か困ったことがあったら助け合えたらいい ・もっと近所の人と交流できたらいい ・気軽に話すことができる近所の人だとうい	・全体で交流する場を作る ・公民館等で交流する ・挨拶してほしい	・積極的に行動する
学校（先生）	・優しい（何でも話せる）先生がいい ・いつでも誰でもいける場所がいい	・誰とでも話をしてほしい	・いろいろな人に話しかける
公園・図書館	・ゴミがなく清潔で、安心できる公園がいい ・ボールを使える公園が増えたらいい ・好きな本がいっぱいある図書館があればいい	・ゴミの持ち帰り、電灯増設 ・大きな公園をつくってほしい ・新作の本を入れてもらう	・防犯ブザーをつける
その他	・争いのない世界になったらいい ・自由にのびのび過ごしたい	・笑顔になる ・気持ちを聞く機会を設けて欲しい	・頻繁に立ち寄る ・喧嘩や争いを無くす ・意見をきちんとと言えるようにする
整理	・子どもに向き合って意見を聞くこと・自分以外の相手を思いやること・地域でお互い挨拶をし交流すること・安心できる環境にすること		

②大人ワークショップ ※子どもの権利条約の説明

第1回 日時：令和2年1月11日（土）13：30～15：30 参加者：52人
狙い：子どもが幸せに生きていくために、子どもに大切にしてもらいたいこと、大人が大切にしないといけないこと、それぞれどのように考えているのかを把握する
手法：8班に分け、「子どもに大切にしてもらいたいこと」、「大人が大切にしないといけないこと」について話し合い、発表する。

第2回 日時：令和2年1月25日（土）13：30～15：30 参加者：45人
狙い：子どもが幸せに生きていくために、第1回の結果や、子どもワークショップの結果を踏まえて、条例に盛り込むべき内容として「子どもに願うこと」、「大人が守るべき（するべき）こと」を把握する
手法：8班に分け、「条例に盛り込むべき大切なこと」について話し合い、発表する。

<p>子どもに大切にもらいたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者とのかかわり <ul style="list-style-type: none"> ・人の気持ちが分かる ・自分の想いを伝える力 ・挨拶ができる ○命 <ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にする ・きちんと食事をとる ○自尊心 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを認めて好きになる ・生きるための力を強く持つ ○主体性・課題解決力 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の「思い」をしっかり持つ ・困難を乗り越える力 ・好きなこと（もの）を見つける ○知識 ○家族 	<p>大人が大切にしないといけないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大人の姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔でいる ・約束を必ず守る ・1人の人間として尊重する ○子どもの意見を聞く・知る <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見（気持ち）を聞く ・子どもの顔を見る ○環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい環境づくり ・安定した生活習慣 ○礼儀・マナー ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・色々なことを経験、体験させる ○家族 <ul style="list-style-type: none"> ・家族との時間
--	--

子どもに願うこと	大人が守るべき（するべき）こと
<ul style="list-style-type: none"> ○他者とのかかわり <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考える ・友達を大切にしてほしい ・色々なことの経験、体験をする ○自尊心 <ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にする ・自分を好きになってほしい ○命 <ul style="list-style-type: none"> ・自分も他人の命も大切にする ○自分の意見や想いを伝える力 <ul style="list-style-type: none"> ・思いを伝える力を身につけてほしい ・ありがとう、ごめんなさいが言える ○夢を持つ <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦する気持ちを忘れない 	<ul style="list-style-type: none"> ○大人の姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ・褒める、認める、愛情を注ぐ ・子どもの考えを否定しない ・子どもに手をあげない ○子どもの意見を聞く・知る・尊重する <ul style="list-style-type: none"> ・意見、気持ちをしっかり聞く ・一人の人間として尊重する ・触れ合う時間を作る ・知らない子どもでも声をかけて、心を寄せる ○環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境づくり（家庭、学校、地域） ・活躍できる場を作る

子どもの権利条約 子どもを権利を持つ主体と位置づけ、大人と同じく、一人の人間として持っている権利を認めている。さらに、大人へと成長する途中にあり、弱い立場にある子どもたちには保護や配慮が必要な面もあるため、子どもならではの権利も定めている。

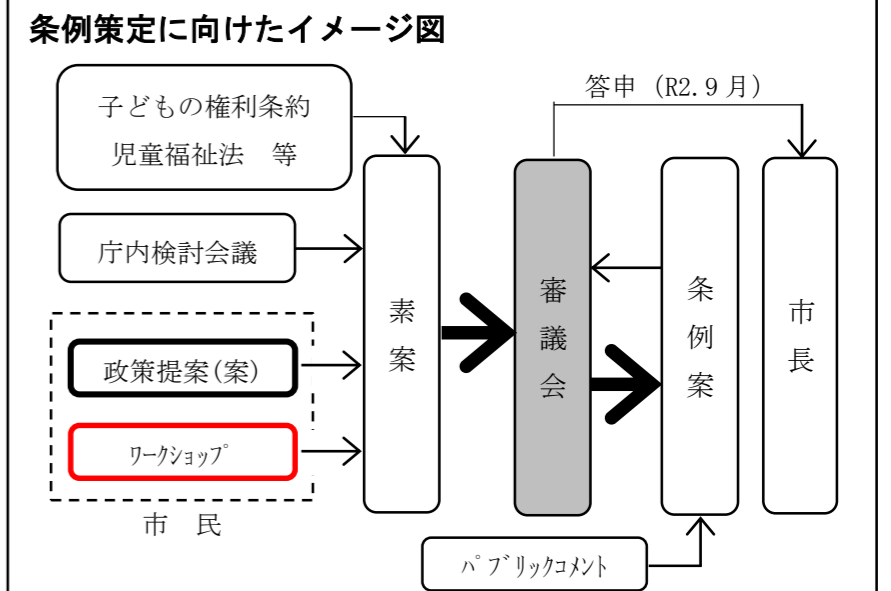
(1) 4つの原則 ・命を守られ成長できること ・差別のないこと
・子どものにとって最もよいこと ・意見を表明し参加できること

(2) 4つの子どもの権利
・生きる権利 ・育つ権利 ・守られる権利 ・参加する権利

まとめ

今回のワークショップで出された意見を、子どもの権利が守られるまちにするために市民がすべきこととして、「子どもが大切にすること」と「大人が守るべき（するべき）こと」の視点から整理すると、以下の通りとなる。

- 子どもが大切にすること**
- ・自分を大切にし、他者への思いやりの心を持つこと
 - ・自分の意見や想いを伝えること
 - ・夢を持って、努力すること
 - ・ルールやマナーを守ること
 - ・主体性や課題解決力を養うこと
- 大人が守るべき（するべき）こと**
- ・子どもを一人の人間として尊重すること
 - ・子どもと向き合う時間を確保し、意見を聞き、受け止めること
 - ・基本的な生活習慣や規範意識を身に付けられるようにすること
 - ・日頃の挨拶等を通じて、子どもとの接点を持ち、みんなで子どもの成長を見守ること
 - ・子どもが安全で安心できる環境づくりをすること
 - ・子育てしやすい社会にすること
 - ・子どもへの虐待及び体罰を禁止すること
 - ・子どもの考えや意見を聞く場や機会を確保すること



2. 子どもワークショップで集まった主な意見

テーマ	第一回子ども向けワークショップ		第二回子ども向けワークショップ	
	こんな〇〇だったらいいな	「こんな〇〇だったらいいな」の主な理由	他者をお願いすること	自分でできること
家族	・優しい家族だったらいいな	・怒っていて話を聞いてくれないから	・怒鳴らず、言い方を変えてほしい	・手伝いをする
	・なんでも聞いてくれる親だったらいいな	・欲しいものを買ってもらえないから	・言うことを聞いてほしい	
	・家族で過ごせる時間が多くあればいいな	・学校が忙しく、家族と過ごす時間が無いから	・家族がスマホばかり見ず、もっと話しをしてほしい	
	・家族間での暴力がなくなるといいな	・痛いし、辛い	・暴力、暴言でなく優しく伝えてほしい	・素直になる
	・理不尽な子ども扱いをやめてほしい	・場面ごとに子ども扱い、大人扱いされるので、自分がどちらなのか分からない	・どっちなのかはっきりしてほしい	・自分が大人になる
お友達	・悪口や陰口（いじめ）が無くなるといいな	・悪口ばかり言う友達といても、楽しくないから ・イジメがあったらされた人も傷つく、してしまった人も後悔するから	・優しくしてほしい ・相手の気持ちを考えてほしい	・自分はしない、している人には注意、誰かに相談する
	・何でも相談できる友達がいたらいいな	・友達が信用出来たら悩み相談にのってくれると思うから	・相手のいいところを知る ・その場に応じた発言をしてほしい	・自分が相談に乗る
	・多くの年代の人が交流できる場があればいいな	・大人のこと、子どものことを知れるから	・大人と子供の交流イベントがほしい	・イベントを開く
	・誰にでも仲良くできたらいいな	・「〇〇ちゃんだからだめ」と言って仲に入れない人がいるから	・ペアになってと言われたら、男女関係なく誰とでも嫌がらない	・自分自身も差別せず、誰にでも優しくする
近所の人	・何か困ったことがあったら助け合えたらいいな	・皆で助け合わないと那珂川市全体でもうまくいかないから	・全体で交流する場を作ってほしい	・地域での交流の時、積極的に行動し、話しかける
	・もっと近所の人と交流できたらいいな	・地域のつながりは大切だと思うから	・公民館等で交流できる様にする	・自分から挨拶する、話しかける
	・気軽に話すことができる近所の人だといいな		・挨拶してほしい	・挨拶を自分からする
学校（先生）	・優しい先生がいいな	・学校に行くのが楽しくなるから	・優しくしてほしい	
	・何でも話せる先生がいたらいいな	・もっと私たちの意見を聞いてほしい	・もっと誰とでも話してほしい	・もっといろんな人に話しかけて仲良くする
	・部活の日数を制限してほしい	・部活が多くてキツイから		・部活の楽しさを見つける
	・時間が欲しい	・すべきことが終わらないから		・協力し合う
	・いつでもだれでも行ける場所	・安心できる場所がないから		
公園・図書館	・ボールを使える公園が増えたらいいな	・近くの公園で、ボールが使えなくなったら	・大きな公園をつかってほしい	
	・ゴミのない清潔な公園だったらいいな	・公園にごみを捨てる人が多い、公園は清潔にしないとイケないと思うから	・ごみを持って帰ってほしい	・ごみは自分で持ち帰るか、ごみ箱に捨てる
	・公園の電灯が多くなればいいな	・夕方になると暗くて不審者が増えると思うから	・電灯を増やしてほしい	・防犯ブザーを付ける
	・好きな本がいっぱいある図書館があればいいな	・好きな本があったらいっぱい本を読めるから	・新作の本を早く入れてほしい	・頻繁に立ち寄る
	・勉強ができる施設（図書館）があればいいな	・静かで集中しやすいから	・図書館で勉強できるような環境を整えてほしい。	・公共の場ということを忘れない
その他	・争いのない世界になったらいいな	・戦争があったら沢山の人が犠牲になるから	・笑顔になる	・身近な場所から喧嘩や争いをなくす
	・帰り道のある所にもっと電灯をつけて、明るくて見やすい道だったらいいな	・帰り道に電灯が少なく、猫とか人が見えなくて当たりそうになるから		
	・犯罪や事故が減るといいな	・犯罪や事故に遭うと、いろんな人が悲しむから	・ニュース等で、きちんと説明してほしい	・事故を起こさないように注意する
	・綺麗な川や用水路だったらいいな	・川や用水路等にごみがあり、外から見ると汚い	・ごみ取り、草取りなどを行ってほしい	・ポイ捨てをしない、ごみを拾う
	・自由にのびのび過ごしたいな	・大人にしばられてばかりで面白くないから	・もっと生徒の気持ちを聞く機会を設けてほしい	・意見をきちんと言えるようにする

3. 第1回大人ワークショップで集まった主な意見

①子どもに大切にしてもらいたいこと

テーマ	子どもに大切にしてもらいたいこと	「子どもに大切にしてもらいたいこと」の理由
他者との かかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりを大切にしてほしい ・悩んでいることを話せる友達を作ってほしい ・人の気持ちが分かるようになってほしい ・自分の思いを伝える力 ・大人の話をもっと、聞くことが出来る力 ・挨拶が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことだけでなく周りの人たちのことを考えられる人になってほしいから ・1人で抱え込んでしまうといけないので、そういう友達がいると安心できるから ・自分のことだけでなく、相手のことも考えられるようになってほしいから ・声に出すことで行動へつながる、相手、仲間が増えるから ・話をじっくり聞ける子どもは考えをしっかりと持てるようになると思うから ・人間関係で大事だから
命	<ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にしてほしい ・きちんと食事を取ること ・睡眠 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんなものに命がある事を知り、大切にしないと無くなってしまふから ・食事を充分にとっていないのではと思うことがあるから ・1日のリズム、体調管理は大切だから
自尊心	<ul style="list-style-type: none"> ・自尊心 ・生きるための力を強く持つ ・自分のことを認めて好きになってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にできないと、人を大切にできないと思うから ・悩んだ時も生きることを考えられる ・自己肯定感が大切だから
主体性、 課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「思い」(意思)をしっかり持ってほしい ・好きなこと、好きなものを見つけること ・夢を持ってほしい ・困難を乗り越える力を付けてほしい ・問題が起きた時、自分で解決しようとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で乗り越えようとしなければ幸せになれないから ・自分の可能性を伸ばすことが出来るから ・叶わなくてもいい、目標があれば充実できるから ・諦めないことで、忍耐力、乗り越える力を身につける
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・教育 ・読書 ・沢山遊んでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身を守るための知識は大切だと思うから ・夢と希望が広がるから ・心が元気になるし、前向きになれるから
家族	<ul style="list-style-type: none"> ・家族を大切に 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が困っている時、相手が困っている時、お互いに助け合ってほしいから

②大人が大切にしないといけないこと

テーマ	大人が大切にしないといけないこと	「大人が大切にしないといけないこと」の理由
大人の 姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔でいる ・約束を必ず守る ・子どもに対して感謝の気持ちを忘れない ・子どもをほめて育てる ・1人1人の個性を認める ・1人の人間として尊重する ・否定しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔でいると、周りも幸せな気分になるから ・子どもの信頼を築くため ・感謝されるという気持ちが育つと思うから ・母親はどうしても、子どものことを叱ることが多い、努力をして褒めて育てる必要があると思うから ・人それぞれ違うことを理解し、全ての子を受け止められるようにするため ・親の所有物ではないから ・行動する前から「それはダメ、〇〇はダメ」と否定しすぎない
子どもの 意見を聞く 知る	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見(気持)を聞く ・子どもの顔をいつも見る ・子どもの興味に対して関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを大人が必ず受け止めてくれると、子どもが分かると思うから ・話さなくても顔の表情で分かるから ・耳を傾けることで信頼してもらえらるから
環境 づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心できる環境づくり ・話しやすい環境づくり ・子育てしやすい社会 ・子どもの貧困についての対策 ・食事 ・睡眠の保証 ・安定した生活習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して帰れる家、ホッとできる家庭 ・子どもが話せる環境を作ることが大切 ・誰かだけではなく、みんなで育てる ・子どもの夢(進学や就職など)を実現する機会の平等のため ・栄養が心の栄養にもなる ・健康に育つため ・子どもの健康な育ちのため
礼儀・ マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀を大切に ・言葉づかい 	<ul style="list-style-type: none"> ・人としてのルール、マナーを身につける ・何でも真似するので、言葉づかいに気を付け、汚い言葉を使わない
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことを経験、体験させる ・大人も学ぶ ・楽しいだけでなく、経験を通して達成感に繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人も知識を更新しなくては、子どもを育てられない
家族	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との時間 ・休みの日は家族みんなで出かける 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる場、話せる場づくりのため ・楽しい時間の思い出が出来る

4. 第2回大人ワークショップで集まった主な意見

テーマ	子どもの権利条例に盛り込むべき大切なこと	選んだ理由
子どもに願うこと	他者とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がされたら、どう感じるかを考えることで、人の痛みを知り優しくできると思うから ・何かあったとき、友達が助けてくれると思うから ・一人で解決出来ないことも解決できるかもしれないから ・人を傷つけることがなくなる ・誰に対しても優しくできると思うから ・笑顔でいることで、笑顔が続く環境になっていくと思うから ・遊びからの学び ・自身の強みとなる ・色々な人と交流ができ、体験できる
	自尊心	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分」を大切にし、好きでいれば人と比べて辛くなることは減る。命や心を守ることはできるはず ・社会が個人を大切にするので ・自分を信じ、生きていってほしいから
	命	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれてきた意味があるから生き生きして過ごしてほしい、子どもは宝物 ・大切にしないと無くなってしまふから ・一時の感情で命を殺めてほしくないから
	自分の意見や思いを伝える力	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に役に立つと思うから ・自分がパンクしてしまう前に、小さく小出しにして口に出してみると解決の近道になると思うから ・人と人のつながりを感じてほしい
	夢を持つ	<ul style="list-style-type: none"> ・最初から諦めず何にでも挑戦できる可能性があることを信じてほしい ・目標があれば頑張れる、充実できるから
大人が守るべき(するべき)こと	大人の姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを褒めて育てる ・子どもが何をしているか見守る ・自分が正しいと思わずに常に学びつづけること、子どもにとって最良、最善の対応をとってあげるはず ・自尊心を育てる ・手をあげると、子どもも手をあげる
	子どもの意見を聞く、知る、尊重する	<ul style="list-style-type: none"> ・何かを決めるにしても、一番大切だと思うから ・話せる子どもばかりではない(乳児、障がい)すべての子の思いを知ることが大事だと思う(努力) ・尊重していれば、親や大人の対応が変わる。暴力や恐怖での支配は無くなるはず ・少しだけでも触れ合うだけで、大人も子どもも安心するから ・気にかけて相手のことを考えるだけで、優しい気持ちになったりするから ・大人も子どもも自らの世界を広げてほしい(興味・関心を育てる)共通の話題づくり
	環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の成長、生きるために大切だから ・自分で考え、自立心を育まれると思う ・安心して育つ権利の保障 ・子どもには健康に育つ権利があるから ・睡眠時間をしっかりととり、体調管理をしっかり行う ・貧困やネグレクトなど、給食のない日の食の確保 ・親の生活、経済状況に左右されない ・すべての子どもが幸せであるために
		<ul style="list-style-type: none"> ・褒める、認める、愛情を注ぐ ・保護者は見守る ・大人は子どものために、正しい知識や教育をし、学ぶこと ・子どもの考えを否定しない ・子どもに手をあげない ・バカにしない、わがままと決めつけない
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見、気持ちをしっかり聞く(手を止めて) ・子どもの思いを知る ・子どもを一人の人間として尊重すること ・1日1回は少しでも親子で触れ合う時間を作る ・互いに関心を持ち、声をかける ・親子で一緒に楽しむ
		<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境づくり(家庭、学校、地域) ・子どもの活躍できる場を作る ・子どもを取り巻く環境整備 ・健やかに育ってほしい ・睡眠 ・1日に3食、毎日食べる権利 ・平等に教育を受けることを ・子どもは貧困であってはならない
		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持を考える ・友達を大切にしてほしい ・周りの人に頼れるようになってほしい ・思いやりを大切に持ってほしい ・感謝の気持が分かる人 ・笑顔で過ごしてほしい ・たくさん遊ぶ、たくさんの人と遊ぶ ・色々なことの経験、体験をする ・地域とのつながりを持つ行事に参加させる